

宮野コミタク通信

宮野地区コミタク運行協議会

コミタクは移動手段を持たない高齢者が買い物や病院に行くための唯一の手段です。利用者にとって、コミタクは単なる移動手段ではなく、他の利用客と話し、コミュニケーションをとる場にもなっている。



いつも「宮野コミタク」をご利用いただきありがとうございます。今回は、山口県立大学の学生が実際に乗車して、お客様から聴いた貴重な意見の一部を紹介いたします。これからも「宮野コミタク」をご利用いただき、皆さまの役に立つ“足”として運行してまいります。

宮野地区コミタク運行協議会 会長 杉山 昭郎

コミタクに乗って出かけましょう♪

新鮮市場宮野店で聞き取り調査を行った時、コミタクの存在を知らないと答えた人が多かった。また、コミタクを知ってはいるが、自転車の方が融通が効くので、乗らないと言う人もあった。

コミタクは車の免許を持たない人にとっては、買い物や病院に行くための貴重な交通手段の一つです。バスやタクシーと比べて運賃も安く、一緒に乗り合わせた地域の人とのコミュニケーションをとったり、運転手さんとの会話もできるいい場である。

コミタクは、交通手段の少ない宮野地区にとって必要な交通手段である。特に自転車や車に乗らなくなった高齢者にとっては、病院や買い物に行くのにとっても必要である。運賃も比較的安く、高齢者の外出への意欲を高めることにもつながる。

コミタクは自転車、徒歩などよりも利用しやすい。運賃も格安で、荷物の多い時などにはとても利用しやすい。そして、最も優れているのは「交流の輪ができる」ということと「乗客と乗務員で安否確認もでき、高齢者の孤立を防ぐことができる」など大きな役割があると思った。

3月13日（月）に山口市公共交通地域検討会が開催され、「湯田」「白石」「大殿」「宮野」が集まり日常の交通問題について議論しました。地域性は異なりますが、「利用促進のために利便性や重要性をどのようにしたら皆さんに認識してもらえるか」が課題だと共通認識しました。